【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公開番号】特開2005-332719(P2005-332719A)
【公開日】平成17年12月2日(2005.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-047
【出願番号】特願2004-150867(P2004-150867)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｖ　8/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 101/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｖ　8/00　６０１Ｅ
Ｇ０２Ｆ　1/13357
Ｆ２１Ｙ 101:02

【手続補正書】
【提出日】平成19年2月6日(2007.2.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基板上に実装された点状光源と、
前記点状光源からの光を入射面から入射して伝播する混色導光板と、
前記混色導光板の上部に配置された主導光板と、
前記混色導光板からの出射光を前記主導光板に導く第１のリフレクタと、
を備えた面状光源装置において、
前記入射面を互いに対向させて前記点状光源を挟むように前記混色導光板を２枚備え、
前記点状光源の上部に配置され、前記点状光源からの光を前記混色導光板の入射面に導く第２のリフレクタをさらに備えたことを特徴とする面状光源装置。
【請求項２】
第２のリフレクタは、前記点状光源の発光中心を焦点とした放物線を結合した断面が略Ｖ字形状であることを特徴とする請求項１記載の面状光源装置。
【請求項３】
第２のリフレクタは、前記点状光源の発光中心を第１の焦点とし、前記混色導光板の入射面の中心を第２焦点として形成した楕円を結合した、断面が略Ｖ字形状であることを特徴とする請求項１記載の面状光源装置。
【請求項４】
２枚の前記混色導光板の対向する前記入射面の間隙に、前記光源からの光を入射し、前記混色導光板の入射面に向けて反射させるコリメータ素子を備えたことを特徴とする請求項１から３のいずれかに記載の面状光源装置。
【請求項５】
前記コリメータ素子は、上面に前記第２のリフレクタに沿うように形成された第１の凹部と、側面に前記混色導光板の入射面と対向する位置に光を出射する面と、下面に点状光源を包囲するため第２の凹部とを備えた、断面が略Ｍ字形状であることを特徴とする請求項４記載の面状光源装置。

【請求項６】
基板上に実装された点状光源と、
前記点状光源からの光を入射して伝播する混色導光板と、
前記混色導光板の上部に配置された主導光板と、
前記混色導光板からの出射光を前記主導光板に導く第１のリフレクタと、
を備えた面状光源装置において、
前記混色導光板は前記点状光源を挿入する穴を設けていることを特徴とする面状光源装置。
【請求項７】
前記混色導光板は前記点状光源を挿入するための貫通穴を設けていることを特徴とする請求項６記載の面状光源装置。
【請求項８】
前記混色導光板は、下面に前記光源を挿入するための第１の窪みを設け、前記第１の窪みと対向する上面に、前記点状光源からの光を全反射する第２の窪みを設けていることを特徴とする請求項６記載の面状光源装置。
【請求項９】
請求項１から８のいずれかに記載の面状光源装置と、前記面状光源からの光を変調する表示素子を設けたことを特徴とする表示装置。